

2019年5月10日 第273号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

安倍 9 条改憲 NO!

憲法審査会に自民党改憲案を提示させるな!

立憲野党と市民の共闘で安倍政権を退陣させよう!

5月9日、衆議院憲法審査会が開かれ、国民投票法のCM規制について日本民間放送連盟(民放連)からの意見聴取が行われました。与党などは、継続審議となっている改憲手続法の改正案の採決をねらっています。こうしたことに抗議し、同日夜、総がかり行動実行委員会と全国市民アクションは、国会議員会館前で「安倍9条改憲 NO! 憲法審査会に自民党改憲案を『提示』させるな! 5. 9国会議員会館前行動」を行い、500人が参加しました。「憲法審査会を開催させない」「自民党案を提示させない」「改憲発議をさせない」—そのために立憲野党と市民が力をあわせ、参議院選挙では改憲勢力に議席の3分の2を取らせないため奮闘していくことを確認しあいました。



立憲民主党の本多平直衆議院議員、社民党の福島みずほ参議院議員、日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員があいさつ。無所属の柚木道義衆議院議員が参加しました。

憲法共同センターの長尾ゆりさん(全労連副議長)が主催者あいさつ。「有明防災公園での5. 3憲法集会は6万5000人の参加で成功した。安倍首相は改憲派の集会にメッセージを送って、2020年に新憲法の施行を言っている。しかし、3000万人署名や野党と市民の共闘の力でスケジュールどおりに進ませている。元号が変わったことを利用し、新しい時代に改憲をワイルド進めると言うが主権者は国民だ。国民の財産である憲法を改悪する企てを許さない。必ず止めよう。国民投票法を呼び水に改憲の議論を進めようとしているが、憲法を変えずに政治を変えよう。安倍政権を退陣に追い込もう」と呼びかけました。

日本体育大学の清水雅彦教授は「改憲手続法の改正案の審議に野党は応じる必要はない。憲法は国を縛るもので、権力の側が改憲を言うのはおかしい。安倍首相は、『憲法は理想を語るもの、改正にむけてがんばる』と言うが、安倍首相には憲法擁護義務がある。憲法審査会で審議をさせないため、立憲野党にがんばってもらいたい」と訴えました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の南典男弁護士は「法律家6団体連絡会で憲法審査会を開くべきではないとの声明を出している。改憲手続法改正案は欠陥法だ。日弁連では昨年5月に自民党改憲案への決議を出しており、CM規制についてテレビ広告など財力がないとできない、不公平だと

いうことを指摘している。大阪都構想の住民投票でもそのことが示された。会期末まで6回の憲法審議会の日程を入れることができるが、開かせないことが重要。安倍改憲阻止のためたたかおう」と呼びかけました。

●東京

「オール大塚」宣伝

「税金を軍備拡大に使わないで福祉や社会保障にまわすべき」

「参議院選挙で政治を変えましょう」



5月9日昼、大塚駅南口で「オール大塚」宣伝を行い、11団体46人が参加しました。300万人署名を42筆集め、配布物400枚（ウェットティッシュ200枚、署名ハガキ入りティッシュ200枚）を配布しました。

（署名賛同者の声）

・宣伝では「安倍政権は何をするかわからないから怖い」、「9条を変えるなんて絶対に止めたい」、「税金を軍備

拡大に使わないで、福祉や社会保障にまわすべき」、「トランプから戦闘機をあんなに買ってどうするんだ」という声がたくさんありました。

・署名をした後、弁士の話をずっと聞いていたネクタイをしっかりとめた男性は、「私は77歳ですが、今日は仕事を探して面接をしてきたのです。安倍さんがなくずし的に9条を変えて戦争ができるようにすることは許せません。9条は世界の宝です。参議院選挙では若者にも訴えて、安倍政権を変えましょう」と話してくれました。

★当面の取り組み★

●19日行動

5月19日(日)14時～ 国会議員会館前

6月19日(水)18時30分～ 国会議員会館前

●辺野古連帯国会包囲行動

5月25日(土)14時～ 国会周辺 *憲法共同センターは国会図書館前

●日韓連帯行動

6月7日(金)18時30分～ 集会・デモ 日比谷野音

6月8日(土)13時30分～ シンポジウム 星陵会館